

◎ 2023年度 運輸安全マネジメントに係る情報の公開

* 貨物自動車運送事業法 第24条の3 で定める輸送の安全にかかわる情報

トナミ運輸株式会社

項目	項目	詳細																																
1	輸送の安全に関する 基本方針	<p>当社の安全衛生は従業員の生活と安全を守ることを基本に、交通事故の無い社会を作り上げる為の牽引者となるべき行動をとり、常に安全・確実・迅速なサービスを提供すると共に、あらゆる機会を利用し、地域の安全推進企業として社会に信頼されるよう模範行動に徹する。</p>																																
2	2022年度 輸送の安全に関する 目標及びその状況（結果）	<p>*2022年度 目標 = 重大事故『ゼロ』</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="4">重大事故の発生状況</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>2022年度実績</th> <th>項目</th> <th>2022年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>転 覆</td> <td>0件</td> <td>健康起因</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>転 落</td> <td>0件</td> <td>車輪脱落</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>衝 突</td> <td>0件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>死 傷</td> <td>0件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>車両火災</td> <td>0件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0件</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※自動車事故報告書規定による</p>	重大事故の発生状況				項目	2022年度実績	項目	2022年度実績	転 覆	0件	健康起因	0件	転 落	0件	車輪脱落	0件	衝 突	0件			死 傷	0件			車両火災	0件			計	0件		
重大事故の発生状況																																		
項目	2022年度実績	項目	2022年度実績																															
転 覆	0件	健康起因	0件																															
転 落	0件	車輪脱落	0件																															
衝 突	0件																																	
死 傷	0件																																	
車両火災	0件																																	
計	0件																																	
3	輸送の安全に関する組織 体制及び指揮命令系統	<p>安全管理規定の安全管理組織図に基づき指示命令し、周知徹底を図っている。</p>																																
4	2023年度 輸送の安全に関する 目標及び重点取組	<p>*2023年度 目標 = 『重大事故ゼロ』</p> <p>◎重点取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆教育対象者への継続した安全教育の実施 ◆荷主構内、SA・PA での後突事故・接触事故の防止と車止め 100%実施 ◆新デジタコを活用した社内ルールの徹底による交通事故防止 ◆デジタコデータ活用による高速道路上での覚低走行の撲滅 ◆安全管理体制の構築（特別指導店、特別指導主管の事故防止の徹底） <p>1.推進取組</p> <p>(1) 教育対象者への継続した安全教育を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ①採用時の指導（乗務職新入社員運転実技の基礎教育の拡充） ②定期的な運転状況の確認と面接指導（社内ルールの徹底） <p>(2) 交差点での知覚不全事故防止の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ①確実な安全確認の実施 ②赤信号停止時の停車方法の徹底 ③交差点での右左折方法の徹底 <p>(3) 高速道路上での居眠り覚低走行防止の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ①体調管理徹底 ②乗務員毎の居眠り防止対策の確実な実践 <p>(4) 後突事故の防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ①社内ルールの徹底 																																

		<p>②バックモニター車の新後退手順徹底</p> <p>(5) 安全管理体制の構築の取組み</p> <p>①安全最優先の職場作り (拘束時間・休息时间管理の徹底)</p> <p>②厳正な点呼の執行</p> <p>③乗務員の健康管理と病気に起因する事故の防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康診断 100%受診と診断結果に基づく二次検査受診指導と改善管理 ・脳 MRI 検診、S A S スクリーニング検査実施と改善・受診指導 <p>(6) その他事故防止の取組み</p> <p>①デジタコ・ドラレコの有効活用 (基本ルールの徹底と管理指導)</p> <p>②マナーアップの取組み (社内キャンペーン実施)</p> <p>③トナミホールディングスグループ各社への安全点検と指導実施</p> <p>2.指導体制及び運動の展開</p> <p>①安全監査指導員による点検指導</p> <p>②運転適性診断・視力検査車による巡回診断と運転指導</p> <p>③特別指導主管支店及び特別指導店の点検指導</p> <p>④交通事故撲滅運動の実施 (年間 3 回)</p>												
5	2023 年度 輸送の安全に関する 教育実施	<p>1) 一般教育 = 全従業員 社内ルールの徹底</p> <p>2) 実車教育 = 入社 3 ヶ月迄の乗務員 (運転実技の基礎教育拡充)</p> <p>3) 階層別能力向上教育=勤続年数別・年齢別・高齢再雇用者への教育</p> <p>4) 是正教育 = 社則違反者を対象としての教育</p> <p>5) 項目別教育 = 新交通 KYT・居眠り事故防止・交差点事故防止・雪道教育・ヒヤリ・ハット事例研究</p> <p>6) 伝道教育 = ベテラン乗務員の経験則から来る運転技術伝道教育 (随時)</p> <p>7) 指導者教育 = リーダー研修・チーフトレーナー研修等</p> <p>8) その他教育 = 安全管理担当者教育、夜間公開激励指導による教育</p> <p>9) 2 年未満者教育 = 個別面接指導の実施</p>												
6	2022 年度 輸送の安全に関する 予算等の実績額	<p>2022 年度 (単位/千円)</p> <table border="1" data-bbox="608 1444 1350 1641"> <tr> <td>安全活動及び教育費</td> <td>22,000</td> <td>集配新デジタコ装着費用</td> <td>370,800</td> </tr> <tr> <td>無事故表彰報奨金</td> <td>20,000</td> <td>バックカメラ装着費等</td> <td>11,000</td> </tr> <tr> <td>熱中症対策等</td> <td>2,500</td> <td>合計</td> <td>426,300</td> </tr> </table>	安全活動及び教育費	22,000	集配新デジタコ装着費用	370,800	無事故表彰報奨金	20,000	バックカメラ装着費等	11,000	熱中症対策等	2,500	合計	426,300
安全活動及び教育費	22,000	集配新デジタコ装着費用	370,800											
無事故表彰報奨金	20,000	バックカメラ装着費等	11,000											
熱中症対策等	2,500	合計	426,300											
7	2022 年度 輸送の安全に係る 内部監査結果と措置	<p>1.監査体制</p> <p>①安全統括管理者により選任された内部監査員により監査を実施</p> <p>②安全統括管理者が必要と認め監査を指示した場合は、遅滞無く監査を実施</p> <p>③内部監査において、改善が必要と認められた場合、即刻改善指示とフォロー点検を実施</p> <p>2.監査結果</p> <p>①通常監査 年 1 回実施 (不具合は即是正)</p> <p>②特別監査 必要と認めず実施無し</p>												